

**令和 6 年度
授業概要
SYLLABUS**

**国際医療福祉専門学校一関校
理学療法学科**

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	生命倫理			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1年 前期	単位	2 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標 (GIO)	イメージや既知の知識を加え、学習教材を覚えやすい形に変換し本人の認知構造に関連付ける。また個人の能動的な取り組みを期待する。				
行動目標 (SBOs)	講義毎に実施する課題レポート及び小論文試験(筆記試験)の合計で評価を行う。				
授業概要	1 生命 2 健康と病気 3 老いる 4 死と安楽死 5 医学と医療 6 医療事故 7 最先端医療 8 小論文の書き方 9 小論文の書き方 10 倫理				
学習方略 (LS)	イメージや既知の知識を加え、学習教材を覚えやすい形に変換し本人の認知構造に関連付ける。また個人の能動的な取り組みを期待する。				
学習評価 (EV)	講義毎に実施する課題レポート及び小論文試験(筆記試験)の合計で評価を行う。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	系統看護学講座 医療概論 医学書院				
参考書	配布する資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	心理学			授業区分	講義
学年・時期	1年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回 (15 時間)
担当教員 mail	下館 浩		実務経験 の 内容	理学療法士(荻野病院、容生会、愛育会)	
一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> ・人の心について、知る。 ・心はわかりきることができないという事を解る。 ・心の深さを感じる。 				
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学についての概略を知る。 ・病理心理について理解する。 ・心療内科と精神科の対象の別を理解する。 ・心理テストを経験する。 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心について 2. 意識と無意識 3. 防衛機制 4. 病理心理 5. 心療内科と精神科の違い 6. 心理療法 7～8. 心理テストの実技体験 以上を知る。 				
学習方略 (LS)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生それぞれの実体験を引用しつつ、心理学を理解できるよう講義する。 ・心理テストは、YG検査を体験する。 				
学習評価 (EV)	<ul style="list-style-type: none"> ・期末試験は筆記で行う。 				
単位認定 の 方法 及び基準	<p>各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。</p>				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・『はじめて出会う心理学』 有斐閣アルマ 				
参考書	<p>(特に指定しない)</p>				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	教育学			授業区分	講義
学年・時期	1年 前期	単位	1単位	回数・時間数	8回 (15時間)
担当教員 mail	小原拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士 (介護老人保健施設シルバーヘルス一関)	
一般目標 (GO)	教育の本質、目的、内容、方法、制度など、教育現象の様々な分野・問題について学習し、教育現象の全体的構造を統一的に「教育人間学」として把握する。				
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高等教育での自らの人間学の向上に役立てる。 2. 教育の場において、自分自身を客観的に理解することができる。 3. 社会教育、医学教育の理解を深める。 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 オリエンテーション 2 国家試験までの道 3 素敵な理学療法士とは 4 なぜ教育が必要か 5 ソーシャルメディア時代に求められること 6 教育ディベート 7 教わる事と教える事 8 学修とは 				
学習方略 (LS)	個人、グループの能動的な取り組みを期待する。				
学習評価 (EV)	授業態度、グループワーク、プレゼンテーションで総合的に評価する。				
単位認定 の方法 及び基準	修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし				
参考書	配布資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	社会学			授業区分	講義
学年・時期	1年 前期	単位	1単位	回数・時間数	8回 (15時間)
担当教員 mail	小原拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士 (介護老人保健施設シルバーヘルス一関)	
一般目標 (GIO)	一般社会の仕組みを理解しながら、様々な視点で物事を捉える力を身につける。				
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会について学び、自分もその一員である事を理解する。 2. 現在社会の特性を理解する。 3. 生活の多様性について理解する。 4. 人と社会の関係について理解する。 5. 社会問題とその背景について理解する。 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 合意形成 2 社会人になるとは 3 ハラスメント 4 Time is Money 時とお金について 5 福知山線脱線事故から学ぶ 6 テーマを決めて調べ学習①(発表準備を含む) 7 テーマを決めて調べ学習②(発表準備を含む) 8 発表 				
学習方略 (LS)	個人、グループの能動的な取り組みを期待する。				
学習評価 (EV)	授業態度、グループワーク、プレゼンテーションで総合的に評価する。				
単位認定 の方法 及び基準	修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし				
参考書	配布資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	法 学			授業区分	講義
学年・時期	1 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回 (15 時間)
担当教員 mail	工藤 英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	理学療法士(南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし)	
一般目標 (GIO)	社会生活における身近な事例や、理学療法士・リハビリ職が遭遇する事件や法律の事例を挙げながら、自己の考えと他人の考えを理解し、自己の行動思考につなげていく。				
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1、法学の基礎的な仕組みと全体構造を他者に説明することができる 2、基本的な法分野に関心・問題意識を持って、学習を進めることができる 3、経済や経営に関係の深い法分野に関心・問題意識を持って、学習を進めることができる 4、社会的な問題について、自分の意見を表明することができる 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、法と人間とのかわり、法を学ぶ意義 2. 理学療法士に関する法 3. 法とは何か、規範としての法、道徳と区別される法 4. 法体系論の基礎知識、法の種類と構造 5. 法の定義、法律の分類、法規分類 6. 法の解釈、法律の本当の意味 7. 法の効力、範囲と土地と時 8. まとめ 				
学習方略 (LS)	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価 (EV)	レポートおよび取組態度にて評価する。				
単位認定 の 方 法 及 び 基 準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	リハビリテーション統計学 中山書店				
参考書	資料等配布				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	対人関係論			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1・2年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回 (15 時間)
担当教員 mail	下館 浩		実務経験 の 内 容	理学療法士(荻野病院、容生会、愛育会)	
一般目標 (GIO)	理学療法士に必要なコミュニケーションスキルを身につけてることが出来る。				
行動目標 (SBOs)	相手と良好な関係性を築くという意図をもってなされる、双方向の意思疎通のプロセスができる。				
授業概要	1.社会で働くために必要な力について 2.伝える・伝わるコミュニケーション、コミュニケーションのタイプ 3.コミュニケーションのタイプ 4.コミュニケーションにおける解決と解消 5.職場や臨床現場でのコミュニケーション 6.医療安全のためのコミュニケーション 7.ミーティングのためのコミュニケーション 8.メンタルヘルスとコミュニケーション				
学習方略 (LS)	・基本的には座学で。動画や読書テキストを利用する。				
学習評価 (EV)	・提出物の内容。人について、自分についての理解度の深まりを評価する。				
単位認定 の 方 法 及 び 基 準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	(不要です)				
参考書	適宜紹介する				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	物 理			授業区分	講義
学年・時期	1年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回 (15 時間)
担当教員 mail	下館 浩		実務経験 の 内 容	理学療法士(荻野病院、容生会、愛育会)	
一般目標 (GiO)	・理学療法に必要な物理学がわかること。				
行動目標 (SBOs)	下記1～8について説明できる				
授業概要	1. 三角関数 2. 速度と加速度 3. 神経伝導速度 4. 力と仕事 5. ベクトル 6. てこの原理・計算 7. 滑車と輪軸 8. 回転運動のトルクと仕事率				
学習方略 (LS)	・座学、物理学の基礎を主体に講義。				
学習評価 (EV)	・期末試験は、筆記試験とする。				
単位認定 の 方 法 及 び 基 準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	・『PT/OT国家試験対策ワークブック計算問題』 医歯薬出版株式会社				
参考書	(特に指定しない)				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	情報科学			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	8 回 (15 時間)
担当教員 mail	工藤 英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし)	
一般目標 (GIO)	医療人(社会人)が共通に備えておきたいコンピューター操作関連などの基礎的知識を理解していく				
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピューターの基礎的操作やデータの処理等を理解する 2. IT社会の情報を的確に捉えるよう収集できる能力を身に付ける 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、オリエンテーション 2. データの取扱い【個人、企業情報の保護と注意事項】 3. データの処理法【Excelを用いた処理】 4. コンピューターの基本操作とデータの入力・編集 5. コンピューター 上での文章入力、Windows 上のインターネットブラウザ利用の速やかな操作ができる 6. 文書作成ソフトを使用し、見やすく体裁の整った文書やレポートを作成できる① 7. 文書作成ソフトを使用し、見やすく体裁の整った文書やレポートを作成できる② 8. 表計算ソフトを使用し、数式や書式設定を応用した表やグラフを作成・操作できる 				
学習方略 (LS)	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価 (EV)	レポートおよび取組態度で評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし 資料を配布				
参考書	適宜紹介する				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	保健体育 I			授業区分	実技
学年・時期	1年 前期	単位	2 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(介護老人保健施設シルバー・ヘルス)	
一般目標 (GIO)	スポーツを通じて、身体を動かすことの大切さを学習することができる。				
行動目標 (SBOs)	1. 保健の意義について理解する。 2. 体育及びレクリエーション活動の社会的意義を理解する。 3. 体育及びレクリエーション活動の基本的原則について理解する。 4. 体育指導及びレクリエーション活動援助の実技を通じて計画作成能力・実践能力を習得向上させる。				
授業概要	1 トレーニングの原則 スポーツ外傷とスポーツ障害 2 競技調べ(発表含む) 3 ラジオ体操(発表含む) 視覚聴覚を用いたレクリエーション 4 ストレッチング 5 スポーツ外傷とスポーツ障害 各論 RICE処置 6 体力テスト① 握力 上体おこし 7				
学習方略 (LS)	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価 (EV)	総合的に評価する(授業態度、実技、発表)				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし				
参考書	適宜紹介する				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	保健体育Ⅱ			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1年 後期	単位	1単位	回数・時間数	8回 (15時間)
担当教員 mail	小原拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士 (介護老人保健施設シルバーヘルス一関)	
一般目標 (GIO)	競技特性の理解と特性から見る疾患について把握する。				
行動目標 (SBOs)	実技、及び演習を中心とした授業を実施するため、積極的に参加することを期待する。				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 体力 原理原則 負荷のかけ方 筋収縮形態 2 筋力トレーニング 3 筋力トレーニング(実技発表) 4 持久力増強運動 5 シヤトルラン 6 ポツチャ(事前学習) 7 ポツチャ(実技) 8 練習メニューの立案演習 				
学習方略 (LS)	講義、実技。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価 (EV)	授業態度、筆記試験、グループワークで総合的に評価する。				
単位認定 の方法 及び基準	修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	なし				
参考書	配布資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	英語			授業区分	講義
学年・時期	1年 前期	単位	2 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	菊池 敦子		実務経験 の 内容	英語講師(穎川スクールジオス、SAPジャパン、英会話スクールイーオン、旧大東町教育委員会、米国アールラム大学短期日本語留学コース、英語教室経営)	
一般目標 (GIO)	・医療現場で使用する英語の基礎を習得する				
行動目標 (SBOs)	・医療に関する英語表現を学ぶ。 ・相手の立場に立ったシンプルで分かりやすいコミュニケーションを身につける。				
授業概要	1 オリエンテーション、UNICEFの英文記事を読む 2 医療現場での基本会話(1) 3 体の部位の名称、問診票 4 骨の瞑想、理学療法士に関する英文を読む 5 筋肉の名称、理学療法士に関する英語を聞き取る 6 傷の種類と症状、基礎的な検査に必要な英語表現 7 精密検査に必要な英語表現 8 リハビリテーションに必要な英語表現 9 院内(校内)の設備を案内する 10 治療(授業)について説明する 11 医療現場での基本会話(2) 12 医療現場での基本会話(3) 13 理学療法に関する英文を読む 14 ロールプレイ(復習) 15 復習とまとめ				
学習方略 (LS)	授業は講義、ロールプレイ、プロジェクトワーク等により実施する。				
学習評価 (EV)	筆記試験70%、取り組み態度30%により総合的に評価する。				
単位認定 の 方 法 及 び 基 準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	特になし 資料を配布				
参考書					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	解剖学 I			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(東八幡平病院・福島整肢療護園・デイサービスリハビリライフ)	
一般目標 (GIO)	人体の骨と筋肉を理解する				
行動目標 (SBOs)	①下記1～14について説明できる ②国家試験問題を解き、出題ポイントを理解できる				
授業概要	1 解剖学とは 2 人体の構成 3 骨格総論 4 上肢の骨の名称 5 体幹の骨の名称 6 下肢の骨の名称 7 関節と靭帯 8 上肢関節と靭帯 9 体幹関節と靭帯 10 下肢関節と靭帯 11 筋肉総論 12 上肢の筋の名称 13 体幹の筋の名称 14 下肢の筋の名称 15 国家試験問題				
学習方略 (LS)	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価 (EV)	単元ごとに小テストを行い、総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	解剖学 医学書院				
参考書	配布する資料				

令和5年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	解剖学 I			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標 (GIO)	主に中枢神経系の構造と神経伝導路、支配筋、自律神経について理解できる				
行動目標 (SBOs)	①下記1～14について説明できる ②国家試験問題を解き、出題ポイントを理解できる				
授業概要	1 神経の構造と発生を説明できる 2 大脳皮質・大脳基底核・大脳辺縁系・脳室を説明できる 3 脳幹を説明できる 4 小脳を説明できる 5 脊髄を説明できる 6 末梢神経の細胞、興奮、シナプス伝導、運動単位等を説明できる 7 上行性伝導路(錐体路、錐体外路等)を説明できる 8 下行性伝導路(感覚神経等)を説明できる 9 頸神経叢と腕神経叢を説明できる 10 上肢の神経と筋支配を説明できる 11 腰神経叢と仙骨神経叢を説明できる 12 下肢の神経と筋支配を説明できる 13 脳神経を説明できる 14 自律神経を説明できる 15 感覚器(臭覚・味覚・聴覚等)を説明できる				
学習方略 (LS)	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価 (EV)	単元ごとに小テストを行い、総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	解剖学 医学書院				
参考書	配布する資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	解剖学Ⅱ			授業区分	講義	
学年・時期	1・2年	前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 (60 時間)
担当教員 mail	田崎裕紀			実務経験 の 内容	歯科医師(東京歯科大学生理学講座、国際医療福祉専門学校)	
一般目標 (GIO)	理学療法学の基礎となる、系統解剖学、局所解剖学を学び理解することができること。					
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な解剖構造と名称が説明できること。 ・解剖学的用語を用いて説明できること。 					
授業概要	<p>「内臓学」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内臓器官の構造 2. 消化器系 3. 呼吸器系 4. 循環器系 5. 泌尿器系 6. 生殖器系 7. 内分泌系 					
学習方略 (LS)	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。					
学習評価 (EV)	小テスト結果、及び前期テスト結果で総合評価する					
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。					
教科書	標準理学療法学・作業療法学解剖学 第4版					
参考書	カラー人体解剖学(西村書店) 系統看護学講座 解剖生理学(医学書院) 人体解剖カラーアトラス					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	生理学 I			授業区分	講義
学年・時期	1年 前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 (60 時間)
担当教員 mail	田崎裕紀		実務経験 の 内 容	歯科医師(東京歯科大学生理学講座、国際医療福祉専門学校)	
一般目標 (GIO)	医学、および理学療法の基礎となる生理学を学び・理解する。				
行動目標 (SBOs)	基礎解剖学を踏まえ、細胞、組織、器官の機能を学び・理解し、説明することが出来る。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 1. 生命現象と人体 (P3～P11) 2. 細胞の構造と機能 (P13～P16) 3. 神経の興奮伝導と末梢神経(P19～P28) 4. 中枢神経 (P30～P46) 5. 筋と骨 (P49～P164) 6. 感覚 (P66～P77) 7. 血液 (P81～P94) 8. 心臓と循環 (P96～P122) 9. 呼吸とガスの運搬 (P124～P135) 10. 尿の生成と排泄 (P137～P145) 11. 酸塩基平衡 (P147～P148) 12. 消化と吸収 (P150～P160) 13. 内分泌 (P162～P174) 14. 代謝と体温 (P177～P186) 15. 生殖と発生 (P188～P198) 16. 運動生理 (P201～P206) 				
学習方略 (LS)	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価 (EV)	授業で行った講義の小テスト、中間テストを行う。小テスト結果および前期テスト結果で評価する。				
単位認定 の 方 法 及 び 基 準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学「生理学」第5版				
参考書	系統看護学講座「解剖学生理学」				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	生理学Ⅱ			授業区分	講義
学年・時期	1年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	佐藤 武諭毅 takeyuki.sato@1st-emg.com		実務経験 の 内容	救急救命士(国際医療看護福祉大学校(旧国際メ ディカルテクノロジー専門学校)、株式会社ファース トエマージェンシー)	
一般目標 (GO)	循環器系および呼吸器系のメカニズムを理解できる				
行動目標 (SBOs)	①循環器系および呼吸器系の正常と異常を理解できる(血液データ、呼吸データ、心電図等) ②心肺蘇生法を理解し、実践できる ③人工呼吸器を理解できる				
授業概要	①心臓の構造 ②心臓の興奮(刺激)伝導系・心臓の神経支配・ ③心電図と心電図のみかた ④心音のみかた ⑤血管の構造と構造、血液の循環 ⑥血圧 ⑦水分代謝 ⑧血液の働きと血液細胞とその種類 ⑨呼吸器系の構造 ⑩呼吸のメカニズム(呼吸運動、外呼吸・内呼吸、ガス交換・ガス運搬) ⑪肺容量と呼吸調節(呼吸性アルカローシス・アシドーシス、代謝性アシドーシス、酸塩基平衡) ⑫動脈血ガス分析 ⑬フィジカルアセスメント ⑭心肺蘇生法(実技も含む) ⑮人工呼吸器(NPPVも含む)の種類と使い方、モニターのみかた、管理				
学習方略 (LS)	理学療法士になるためには、能動的な復習や予習が必須。				
学習評価 (EV)	授業で行った講義の小テスト、中間テストを行う。小テスト結果および前期テスト結果で評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法学「生理学」第5版				
参考書	系統看護学講座「解剖学生理学」				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	臨床心理学			授業区分	講義
学年・時期	2年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	千葉 崇弘 baachii52@gmail.com		実務経験 の 内 容	臨床心理士(仙台市スクールカウンセラー、岩手県沿岸南部教育事務所スクールカウンセラー)	
一般目標 (GIO)	・臨床心理学の基礎知識を理解し、コミュニケーション・対人理解に応用できること				
行動目標 (SBOs)	臨床心理学のものの見方、言葉を用いることができるようになる。				
授業概要	以下の大項目について学習を進めていく 第Ⅰ部 臨床心理学の扉を開く—臨床心理学とは— 第Ⅱ部 心理援助の実際にふれる—事例に学ぶ問題の理解とかかわり— 第Ⅲ部 心理援助の基礎を学ぶ—発達・人格理論— 第Ⅳ部 対象を理解する—心理アセスメント— 第Ⅴ部 心理援助の方法を知る—心理療法—				
学習方略 (LS)	講義の聴講と体験学習を通して臨床心理学の知識・技術を習得する				
学習評価 (EV)	小テスト、最終テスト、レポート、授業態度を総合的に評価し、判断する				
単位認定 の 方 法 及 び 基 準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	心とかかわる臨床心理 第3版				
参考書					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	医学概論			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士(東八幡平病院・福島整肢療護園・デイサービスリハビリライフ)	
一般目標 (GIO)	医療従事者として「医学」とは何かについて学ぶ				
行動目標 (SBOs)	医学に関する専門用語を理解しながら、理学療法士としての関りを理解できる				
授業概要	1 生きることと死ぬこと 2 生きることと死ぬこと 3 生きることと死ぬこと 4 医学と医療 5 医学と医療 6 医学と医療 7 保健・医療・介護 8 保健・医療・介護 9 保健・医療・介護 10 医療と社会 11 文章を書く意味 12 作文と論文とは 13 小論文の書き方 14 道徳と倫理 15 まとめ				
学習方略 (LS)	用語の意味を理解しながら、ノートにまとめることを意識して学習してください。				
学習評価 (EV)	小テストと小論文で総評する。				
単位認定 の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	医療概論 医学書院				
参考書	配布する資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	老年学			授業区分	講義
学年・時期	1年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(介護老人保健施設シルバー・ヘルス)	
一般目標 (GIO)	加齢に伴い老年期の特徴と内科疾患の基礎について学ぶ。				
行動目標 (SBOs)	1～14を簡潔に説明できる。				
授業概要	1 老化と老年病の考え方 2 加齢に伴う変化:生理機能 3 加齢に伴う変化:運動機能 4 加齢に伴う変化:精神心理症状 5 高齢者に多い症候と老年症候群 6 高齢者に多い症候と老年症候群 7 高齢者に多い症候と老年症候群 8 高齢者に多い症候と老年症候群 9 高齢者に多い症候と老年症候群 10 認知症と精神疾患 11 認知症と精神疾患 12 骨粗しょう症と運動器疾患 13 骨粗しょう症と運動器疾患 14 感染症 15 過去国家試験問題解説				
学習方略 (LS)	人体特に内科学は日常で起こりうる内科の病気の学問です。生理学や解剖学、病理学と一緒に学習してください。				
学習評価 (EV)	ペーパーテストで評価する				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法「内科学」第3版、「老年学」第3版 基礎から学ぶ内科学ノート(医歯薬出版)				
参考書					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	整形外科学			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士 (衣笠病院、一関病院)	
一般目標 (GIO)	整形外科学疾患の概要を中心に学び、病態と治療法、リハビリテーションを理解する。				
行動目標 (SBOs)	リハビリテーションと関わりの深い整形外科疾患について、説明することができる。				
授業概要	1 整形外科基礎知識 2 運動器の評価および検査法 3 整形外科的治療法 4 炎症性疾患 5 代謝・内分泌疾患、退行性疾患 6 先天性骨・関節疾患 7 循環障害と壊死性疾患 8 骨・軟部腫瘍 9 神経・筋疾患 10 脊椎の疾患 11 骨折 12 脊髄損傷 13 関節における外傷性疾患 14 末梢神経における外傷性疾患 15 腱・靭帯における外傷性疾患 16 スポーツ傷害 17 熱傷 18 切断および離断				
学習方略 (LS)	講義は、スライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施する。 適宜、グループワークなどの学生が調べて発表する課題も取り入れて行う。 事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。				
学習評価 (EV)	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定 の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	標準理学療法学・作業療法「整形外科学」第5版				
参考書					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	整形外科学			授業区分	講義(演習含み)																																		
学年・時期	1 年 後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 (60 時間)																																		
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士 (衣笠病院、一関病院)																																			
一般目標 (GIO)	前期で履修した整形外科学疾患の概要を更に掘り下げ、より専門的な疾患の背景を知ること、理学療法を実施するための知識をみに付ける																																						
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・整形外科疾患の病態的特徴と運動に関わる症状が説明できる。 ・疾患における重症度や治療方法など疫学的特徴の知識を定着させる。 																																						
授業概要	<table border="0"> <tr> <td>1 運動器の概観</td> <td>18 関節可動域測定</td> </tr> <tr> <td>2 運動器の生理</td> <td>19 徒手筋力テスト</td> </tr> <tr> <td>3 徴候、診察、検査、治療</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 上肢の疾患</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 下肢の疾患</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 体幹の疾患</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 末梢神経損傷</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 外傷</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 スポーツ外傷・障害</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 骨・軟部腫瘍／脊髄腫瘍</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 リウマチ性疾患</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12 変形性関節症</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13 骨系統疾患</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14 代謝性骨疾患</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15 感染性疾患</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16 老年症候群</td> <td></td> </tr> <tr> <td>17 リハビリテーション診療</td> <td></td> </tr> </table>					1 運動器の概観	18 関節可動域測定	2 運動器の生理	19 徒手筋力テスト	3 徴候、診察、検査、治療		4 上肢の疾患		5 下肢の疾患		6 体幹の疾患		7 末梢神経損傷		8 外傷		9 スポーツ外傷・障害		10 骨・軟部腫瘍／脊髄腫瘍		11 リウマチ性疾患		12 変形性関節症		13 骨系統疾患		14 代謝性骨疾患		15 感染性疾患		16 老年症候群		17 リハビリテーション診療	
1 運動器の概観	18 関節可動域測定																																						
2 運動器の生理	19 徒手筋力テスト																																						
3 徴候、診察、検査、治療																																							
4 上肢の疾患																																							
5 下肢の疾患																																							
6 体幹の疾患																																							
7 末梢神経損傷																																							
8 外傷																																							
9 スポーツ外傷・障害																																							
10 骨・軟部腫瘍／脊髄腫瘍																																							
11 リウマチ性疾患																																							
12 変形性関節症																																							
13 骨系統疾患																																							
14 代謝性骨疾患																																							
15 感染性疾患																																							
16 老年症候群																																							
17 リハビリテーション診療																																							
学習方略 (LS)	講義は、スライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施する。 適宜、グループワークなどの学生が調べて発表する課題も取り入れて行う。 事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。																																						
学習評価 (EV)	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。																																						
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。																																						
教科書	病気がみえる vol.11 運動器・整形外科 メディックメディア																																						
参考書																																							

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	整形外科Ⅱ			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士 (衣笠病院、一関病院)	
一般目標 (GIO)	理学療法評価及び治療を実施する上で必要不可欠な組織を実際に触診できることを学習する				
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・下記1～15に関する骨・関節・筋を説明しながら触診できる。 ・組織ごとの特徴を捉えながらの触診方法を学ぶ。 ・解剖に照らし合わせた基本的な触診技術の習得を目指す。 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 触診の基本 2 肩甲骨・鎖骨 3 上腕骨・橈骨・尺骨 4 手根骨・指骨 5 骨盤・大腿骨 6 膝周辺・足関節および足部周辺 7 肩甲上腕関節に関わる筋 8 肩甲胸郭関節に関わる筋 9 肘関節に関わる筋 10 手関節および手指に関わる筋 11 股関節に関わる筋 12 膝関節に関わる筋 13 足関節および足部に関わる筋 14 胸郭脊柱の骨 15 体幹に関する筋 				
学習方略 (LS)	授業は実技を中心に学生同士で触診技術を学ぶ。				
学習評価 (EV)	出席状況、提出物および取組態度、実技試験により総合的に評価する。				
単位認定 の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	運動療法のための機能解剖学的触診技術動画プラス上肢、下肢/体幹(メジカルビュー社)				
参考書					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	神経内科学・脳外科学			授業区分	講義
学年・時期	2年 前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 (60 時間)
担当教員 mail	佐藤 博志 h-sato@ccube-station.com		実務経験 の 内容	理学療法士(ボバース記念病院、栃内第二病院、 八角商店シーキューブ)	
一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> ・脳の機能と運動障害の関係についての整理 ・運動障害の原因となる脳血管障害をはじめとした脳の損傷についての知識の教授 ・リハビリテーションを行う意義についての理解を主な目的としている 				
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・脳血管障害をはじめとした脳の損傷の状態を理解し、説明することができる。 ・様々な症状や徴候を示す機能的背景を理解し、臨床推論過程に応用できる。 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中枢神経理学療法の基礎知識 2. 運動と感覚の中枢機能と構造 3. 脳損傷の定義と病態 4. 脳損傷とその回復 5. 脳血管障害における医学管理 6. 脳血管障害におけるリハビリテーション 7. 脳血管障害後の運動障害 8. 脳血管障害後の運動学習 9. 脳血管障害後の歩行機能の再建 10. 脳血管障害後の上肢機能 11. 脳血管障害後の合併症 12. 脳血管障害後の高次機能障害 13. 脳血管障害における理学療法の実際 14. 脳の構造と機能(大脳基底核) 15. 脳の構造と機能(小脳) 16. 脳の構造と機能(脳幹) 17. パーキンソン病の病態とリハビリテーション 18. 失調症の病態とリハビリテーション 19. 頭部外傷・脳腫瘍 20. 多発性硬化症・筋萎縮性側索硬化症 				
学習方略 (LS)	<ul style="list-style-type: none"> ・講義を中心に図説を多く取り入れながら、脳の機能をイメージ出来る様に学ぶ。 ・実際の患者像をイメージ出来る様に、動画等を取り入れながら学ぶ。 ・部分的に臨床像の運動分析の視点に向けた実技を通じて学ぶ。 				
学習評価 (EV)	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎知識のテストで評価する。 				
単位認定 の 方法 及び基準	<p>各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。</p>				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・神経障害理学療法学 I・II (中山書店) 				
参考書					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	精神医学			授業区分	講義
学年・時期	1年 後期	単位	1単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	小原拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士 (介護老人保健施設シルバーヘルスー関)	
一般目標 (GIO)	・精神医学の特色を身体医学との比較で学ぶ				
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の病態、症状、治療法を理解する。 ・臨床で必要とされる精神医学の知識を身につけ病気と障害を持ちながらの生活を支える技術を学ぶ。 ・患者、障害者の心に共感し、健康な心の部分を捉える能力を養う。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> 1 精神医学総論 2 精神医学総論 3 精神医学総論 4 統合失調症 5 抑うつ障害群、双極性障害および関連障害群 6 抑うつ障害群、双極性障害および関連障害群 7 認知症 8 依存症 9 てんかん 10 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害 11 摂食障害 12 パーソナリティ障害 13 発達障害 14 精神科の治療 15 国家試験問題 				
学習方略 (LS)	講義は下記の教科書を用いながら実施。				
学習評価 (EV)	筆記試験、授業態度で総合的に判断。				
単位認定 の方法 及び基準	修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・PTOT 基礎から学ぶ精神医学ノート 第2版 医歯薬出版株式会社 ・改訂第2版 専門医がやさしく語るはじめての精神医学 中山書店 				
参考書	配布資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	運動学			授業区分	講義(実技含み)																																		
学年・時期	1年 前期	単位	2 単位	回数・時間数	30回 (60時間)																																		
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士 (衣笠病院、一関病院)																																			
一般目標 (GIO)	解剖学や生理学の知識をもとに人間の運動とはどのようなメカニズムによって行われているかについて説明できる																																						
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・身体各所の機能と照らし合わせて運動の役割や機序を理解する。 ・基本的な運動から逸脱した状態がどのようなものかを理解する。 ・運動学的視点を身に付け、運動の観察から動作の分析による現象の抽出ができるようになる。 																																						
授業概要	<table border="0"> <tr> <td>1 運動学と理学療法・作業療法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 生体力学</td> <td>18 手根・手の運動障害</td> </tr> <tr> <td>3 神経筋骨格系の機能</td> <td>19 骨盤・股関節の運動</td> </tr> <tr> <td>4 運動と呼吸・循環・代謝</td> <td>20 骨盤・股関節の運動障害</td> </tr> <tr> <td>5 顔面・咀嚼・嚥下の運動</td> <td>21 膝関節の運動</td> </tr> <tr> <td>6 顔面・咀嚼・嚥下の運動障害</td> <td>22 膝関節の運動障害</td> </tr> <tr> <td>7 頭部と頸部の運動</td> <td>23 下腿・足関節・足部の運動</td> </tr> <tr> <td>8 頭部と頸部の運動障害</td> <td>24 下腿・足関節・足部の運動障害</td> </tr> <tr> <td>9 胸椎・腰椎の運動</td> <td>25 神経ダイナミクス</td> </tr> <tr> <td>10 胸椎・腰椎の運動障害</td> <td>26 感覚と運動</td> </tr> <tr> <td>11 胸郭と呼吸運動</td> <td>27 運動発達と姿勢反射</td> </tr> <tr> <td>12 胸郭と呼吸運動の障害</td> <td>28 姿勢制御とその異常</td> </tr> <tr> <td>13 肩複合体の運動</td> <td>29 基本動作の種類と分析</td> </tr> <tr> <td>14 肩複合体の運動障害</td> <td>30 正常歩行と異常歩行</td> </tr> <tr> <td>15 肘前腕の運動</td> <td>31 身体運動の分析法</td> </tr> <tr> <td>16 肘・前腕の運動障害</td> <td>32 体力良好と運動負荷</td> </tr> <tr> <td>17 手根・手の運動</td> <td>33 運動学と評価、治療、クリニカル・ズ・ニク</td> </tr> </table>					1 運動学と理学療法・作業療法		2 生体力学	18 手根・手の運動障害	3 神経筋骨格系の機能	19 骨盤・股関節の運動	4 運動と呼吸・循環・代謝	20 骨盤・股関節の運動障害	5 顔面・咀嚼・嚥下の運動	21 膝関節の運動	6 顔面・咀嚼・嚥下の運動障害	22 膝関節の運動障害	7 頭部と頸部の運動	23 下腿・足関節・足部の運動	8 頭部と頸部の運動障害	24 下腿・足関節・足部の運動障害	9 胸椎・腰椎の運動	25 神経ダイナミクス	10 胸椎・腰椎の運動障害	26 感覚と運動	11 胸郭と呼吸運動	27 運動発達と姿勢反射	12 胸郭と呼吸運動の障害	28 姿勢制御とその異常	13 肩複合体の運動	29 基本動作の種類と分析	14 肩複合体の運動障害	30 正常歩行と異常歩行	15 肘前腕の運動	31 身体運動の分析法	16 肘・前腕の運動障害	32 体力良好と運動負荷	17 手根・手の運動	33 運動学と評価、治療、クリニカル・ズ・ニク
1 運動学と理学療法・作業療法																																							
2 生体力学	18 手根・手の運動障害																																						
3 神経筋骨格系の機能	19 骨盤・股関節の運動																																						
4 運動と呼吸・循環・代謝	20 骨盤・股関節の運動障害																																						
5 顔面・咀嚼・嚥下の運動	21 膝関節の運動																																						
6 顔面・咀嚼・嚥下の運動障害	22 膝関節の運動障害																																						
7 頭部と頸部の運動	23 下腿・足関節・足部の運動																																						
8 頭部と頸部の運動障害	24 下腿・足関節・足部の運動障害																																						
9 胸椎・腰椎の運動	25 神経ダイナミクス																																						
10 胸椎・腰椎の運動障害	26 感覚と運動																																						
11 胸郭と呼吸運動	27 運動発達と姿勢反射																																						
12 胸郭と呼吸運動の障害	28 姿勢制御とその異常																																						
13 肩複合体の運動	29 基本動作の種類と分析																																						
14 肩複合体の運動障害	30 正常歩行と異常歩行																																						
15 肘前腕の運動	31 身体運動の分析法																																						
16 肘・前腕の運動障害	32 体力良好と運動負荷																																						
17 手根・手の運動	33 運動学と評価、治療、クリニカル・ズ・ニク																																						
学習方略 (LS)	講義は、スライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施する。 適宜、グループワークなどの学生が調べて発表する課題も取り入れて行う。 事前に教科書の該当部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。																																						
学習評価 (EV)	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。																																						
単位認定 の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。																																						
教科書	基礎から学ぶ運動学ノート 医歯薬出版(株) 運動学テキスト 南江堂																																						
参考書	筋骨格系のキネシオロジー 医歯薬出版																																						

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	運動学			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士 (衣笠病院、一関病院)	
一般目標 (GIO)	理学療法評価及び治療を実施する上で必要不可欠な組織を実際に触診できることを学習する				
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・下記1～15に関する骨・関節・筋を説明しながら触診できる。 ・組織ごとの特徴を捉えながらの触診方法を学ぶ。 ・解剖に照らし合わせた基本的な触診技術の習得を目指す。 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 触診の基本 2 肩甲骨・鎖骨 3 上腕骨・橈骨・尺骨 4 手根骨・指骨 5 骨盤・大腿骨 6 膝周辺・足関節および足部周辺 7 肩甲上腕関節に関わる筋 8 肩甲胸郭関節に関わる筋 9 肘関節に関わる筋 10 手関節および手指に関わる筋 11 股関節に関わる筋 12 膝関節に関わる筋 13 足関節および足部に関わる筋 14 胸郭脊柱の骨 15 体幹に関する筋 				
学習方略 (LS)	授業は実技を中心に学生同士で触診技術を学ぶ。				
学習評価 (EV)	出席状況、提出物および取組態度、実技試験により総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	運動療法のための機能解剖学的触診技術動画プラス上肢、下肢/体幹(メジカルビュー社)				
参考書					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	小児科学			授業区分	講義
学年・時期	2年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標 (GIO)	1年次後期に学習した人間発達学を基礎に発達過程で生じる中枢神経障害や骨関節障害、遺伝疾患、精神障害等の病気について学習する				
行動目標 (SBOs)	理学療法士が臨床場面で遭遇する代表的な疾患の原因と病態、臨床像について説明できる				
授業概要	1、低出生体重児・ハイリスク児 2 脳性麻痺の原因と病態、合併症① 3、脳性麻痺の原因と病態、合併症② 4、二分脊椎の原因と病態、合併症 5、ダウン症候群の原因と病態、合併症 6、子供の代表的な遺伝性疾患: 遺伝形式と臨床像 7、大腿骨頭すべり症、ペルテス病の原因と臨床像 8、代表的な骨端症: 部位と好発年齢 9、先天性股関節脱臼と股関節障害に関する臼蓋角とCE角、sharp角 10、小児で多い骨折と特発性側彎症 11、自閉症スペクトラム障害、広汎性発達障害 12、血友病 13、先天性奇形を生じる疾患 14、精神遅滞(知的障害)を生じる疾患 15、自己免疫疾患と代謝異常				
学習方略 (LS)	内科学や整形外科学の知識を共有しながら学習すること。				
学習評価 (EV)	筆記試験で総評する。				
単位認定の方法及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	基礎から学ぶ神経内科ノート・基礎から学ぶ病理学ノート(医歯薬出版)・小児理学療法学テキスト(南江堂)				
参考書	標準理学療法学・作業療法「内科学」第3版、「老年学」第3版 標準理学療法学・作業療法「整形外科学」第4版				

標

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	栄養学			授業区分	講義
学年・時期	1年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	小原 粒子		実務経験 の 内容	管理栄養士(老人保健施設きぼう苑、ケアハウス千鳥苑、特別養護老人ホームふなの園、一関病院)	
一般目標 (GIO)	近年リハビリ対象者(高齢者)に低栄養やサルコペニアが増加している。栄養状態を良好に保ち、適切な栄養管理下での積極的なリハビリは、筋力アップにつながり、さらなるADLの改善につながりものである。また口腔機能の維持・向上に関心を持ち、栄養状態が及ぼすリハビリの効果を理解することを目的とする。				
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養素について理解する 2. 栄養素の消化・吸収・代謝について理解する 3. エネルギーの代謝・エネルギーの消費について理解する 4. チーム医療の仕組み、栄養ケアマネジメントについて理解する 5. 臨床栄養・病態別栄養管理について理解する 6. リハビリテーション栄養の全体について理解する 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> ①人間栄養学 ②栄養素の種類とはたらき ③食物の消化と、栄養素の吸収・代謝について ④エネルギー代謝 ⑤食事と食品 ⑥栄養ケアマネジメント ⑦栄養状態の評価と判定 ⑧ライフステージにおける栄養管理 ⑨臨床の場における病態栄養 ⑩リハビリテーション栄養の必要性と実際について ⑪口腔機能と栄養の関わり ⑫心身内科学と栄養の関わり ⑬慢性疾患患者に対する低栄養対策 ⑭在宅支援における栄養の役割 ⑮実症例をもとにした、栄養アセスメントと栄養ケアプランの作成 ⑯国家試験の傾向と対策 				
学習方略 (LS)	教科書を中心に授業する。実際の臨床の現場で行われている内容を適宜取り入れる				
学習評価 (EV)	定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	2021年版「系統看護学講座」 専門基礎分野 人体の構造と機能[3] 栄養学 (医学書院)				
参考書	その他、厚生労働省資料やプリント等				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	リハビリテーション概論(理学療法概論)			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1年 前後期	単位	3単位	回数・時間数	45回 (90時間)
担当教員 mail	小原拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士 (介護老人保健施設シルバーヘルスー関)	
一般目標 (GIO)	リハビリテーションの概念を理解し、それに伴う理学療法の役割について広く学ぶ。				
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法の概略および理学療法士の現状について理解する。 ・実際の場面を想定したものを通して理解を深めていく。 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 理学療法の概念と歴史 2 理学療法士の法律 3 理学療法士の関連法規 4 理学療法の意義と役割 5 理学療法の対象 6 理学療法の方法 7 理学療法士の組織 8 理学療法士教育 9 医療、保健分野の理学療法 10 地域リハビリテーションと理学療法 11 医療事故とリスクマネジメント 12 個人情報の管理と対象者の権利 13 理学療法士を目指す学生に求められるもの 14 臨床教育の実践 15 理学療法士と研究 				
学習方略 (LS)	講義、グループワーク、発表。				
学習評価 (EV)	授業態度、筆記試験、発表と総合的に判断する。				
単位認定 の方法 及び基準	<p>修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。</p>				
教科書	理学療法概論 第4版 神陵文庫 ICFの理解と活用 萌文社				
参考書	配布資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	社会福祉学			授業区分	講義
学年・時期	1年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	佐々木千枝 goodjobousyuu777@gmail.com		実務経験 の 内容	社会福祉士(フレンドシップいわて、岩手県教育委員会、北上福祉専門学校、盛岡大学短期大学部)	
一般目標 (GIO)	社会背景の移り変わりに対してどのように社会福祉制度が変化してきているのかを理解し、対人援助する際の視点を持てる				
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉とは何かを理解する。 2. 日本における社会福祉制度について理解する。 3. 介護保険制度について理解する。 4. 地域福祉について理解する。 5. 医療福祉・精神保健福祉について理解する。 6. 社会福祉施設の役割について理解する。 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉とは 2. 日本の社会福祉の歴史 3. 社会保障制度と社会福祉を展開する組織 4. 子ども福祉について 5. 障害者福祉について 6. 高齢者福祉について 7. 介護保険制度と専門職の役割 8. 低所得者福祉について 9. 地域福祉とその推進方法 10. 医療福祉について 11. 精神保健福祉について 12. 社会福祉施設の役割 13. 社会福祉を担う人々 14. 相談援助の目的と方法 15. 社会福祉を巡る課題とコメディカルに期待される役割 				
学習方略 (LS)	教科書を中心に講義形式で学習 ○学習方略のタイプ(ワインスタインら 1986)カテゴリーの精緻化方略を参考とすること。 ※事前に学習方略内容の確認を各自行うこと。				
学習評価 (EV)	レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	コメディカルのための社会福祉概論 第4版 講談社				
参考書	その他、厚生労働省資料やプリント等				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	基礎理学療法総論			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	1年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	小原拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士 (介護老人保健施設シルバーヘルス一関)	
一般目標 (GO)	運動療法を実施できる基礎として、対象者の評価に基づいた姿勢変換や移乗・移動動作の習得が不可欠です。				
行動目標 (SBOs)	①ボディメカニズムを理解できる ②①を理解した上で対象者に対して適切な介助や誘導を行うことができる				
授業概要	1 移動介助の基礎知識と注意点 2 安全な介助 障害別介助の特徴と留意点 3 杖の合わせ方 歩行 4 階段昇降 5 車椅子の閉じ方と開き方、車椅子自走 6 臥位 7 ベッド上臥位での移動 8 寝返り 9 起き上がり 10 座位 11 座位での移動、座位からの立ち上がり 12 立位保持 13 移乗 14 移乗(トイレ、浴室) 15 車椅子介助(段差昇降、屋外)				
学習方略 (LS)	実技を通じ介助方法や理論を学ぶ 一部講義を含む				
学習評価 (EV)	授業態度、実技試験、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定 の方法 及び基準	修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	新イラストによる安全な動作介助の手引き 第3版 医歯薬出版				
参考書	配布資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法研究法 I			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	工藤 英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士(南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし)	
一般目標 (GIO)	理学療法における研究の意義を理解し、これまでの学習で抱いた疑問や気付いた矛盾を明らかにするための、思考過程と問題解決能力を習得する。また、研究計画を立案し、研究の流れや手順に沿って実施、発表できる。				
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1、研究の意義が説明できる 2、研究過程を説明できる 3、データの解析ができる 4、研究発表ができる 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 概論 (研究の面白さ、楽しみ、何のために研究をするのか) 2. 研究を始める前に(研究テーマの選び方、研究の仮設立案) 3. 統計学の基本1 4. 統計学の基本2 5. 記述統計学 6. 統計学の確率の考え方 7. 推測統計学の考え方 8. 自主研究1 9. 自主研究2 10. 自主研究3 11. 自主研究4 12. 自主研究5 13. 自主研究6 14. 発表 15. 発表、まとめ 				
学習方略 (LS)	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価 (EV)	レポートおよび取組態度、発表により総合的に評価する。				
単位認定 の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	リハビリテーション統計学 中山書店				
参考書	資料等配布				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法研究法Ⅱ			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	工藤 英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士(南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし)	
一般目標 (GIO)	理学療法における研究の意義を理解し、これまでの学習で抱いた疑問や気付いた矛盾を明らかにするための、思考過程と問題解決能力を習得する。また、研究計画を立案し、研究の流れや手順に沿って実施、発表できる。				
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1、理学療法研究の意義が説明できる 2、理学療法研究過程を説明できる 3、理学療法データの解析ができる 4、理学療法研究の発表ができる 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1、オリエンテーション 2、理学療法研究について① 3、理学療法研究について② 4、理学療法学会誌等の紹介① 5、理学療法学会誌等の紹介② 6、理学療法学会誌等の自己検索① 7、理学療法学会誌等の自己検索② 8、自己研究の作成① 9、自己研究の作成② 10、自己研究の作成③ 11、自己研究の作成④ 12、自己研究の作成⑤ 13、研究発表用のパワーポイント貼り付け 14、研究発表 15、研究発表、まとめ 				
学習方略 (LS)	授業は講義、ディスカッションにて実施する。学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習講義を実施する。				
学習評価 (EV)	レポートおよび取組態度、発表により総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	リハビリテーション統計学 中山書店				
参考書	資料等配布				

令和5年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	卒業研究			授業区分	講義(演習含み)	
学年・時期	3年	前期後期	単位	3単位	回数・時間数	45回 (90時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp			実務経験 の内容	理学療法士(東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標 (GIO)	・理学療法士に必要な知識・技術を整理し、理解を深める。					
行動目標 (SBOs)	・国家試験受験に向けて、出題傾向をとらえ学習計画を立て、実行できる。					
授業概要	1-2: 国家試験の出題傾向の把握と1年間の学習計画作成 3-12: 理学療法に関する手技演習 13-22: 基礎医学、臨床医学についての復習・まとめ 23-32: 理学療法専門分野の知識・技術の復習とまとめ 33-45: 個々の課題分析と課題演習					
学習方略 (LS)	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。 テスト後、復習を実施する。					
学習評価 (EV)	提出物および取組態度80%、筆記試験80%により総合的に評価する。					
単位認定 の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。					
教科書	特になし					
参考書	国家試験および模擬試験問題等					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法業務運営管理			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2年 前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 (60 時間)
担当教員 mail	工藤 英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし)	
一般目標 (GIO)	リハビリテーションおよび理学療法の概要を理解しながら、リハビリテーションチームの一員としての理学療法士としての役割と業務内を説明できる				
行動目標 (SBOs)	①下記1～15について説明できる				
授業概要	1 職業倫理 2 リスボン宣言 3 理学療法士の使命と倫理・インホームドコンセント 4 守秘義務 5 病院・施設の組織と役割 6 診療業務と診療記録 7 コンプライアンス 8 労務管理 9 組織マネジメント 10 ハラスメント 11 安全管理・リスク管理と事故報告書(ヒアリハット含む) 12 診療参加型臨床実習 13 OSCE 14 臨床実習の評価(ルーブリック・ソーシャルスキル・ポートフォリオ) 15 スタンダードプリコーション				
学習方略 (LS)	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価 (EV)	ペーパー試験により総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	リハビリテーション管理学 医学書院				
参考書					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法評価法 I		授業区分	演習	
学年・時期	1 年 前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 (60 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標 (GO)	理学療法の意義を理解し、個々の評価方法、判断をし患者の全体像を把握できる				
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法評価の意義を理解する。 ・理学療法評価の手技・判断が理解する。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法評価の意義 ・一般的評価事項 ・バイタルサイン ・形態測定 ・痛みの評価 ・感覚検査 ・バランス機能検査 ・高次脳機能検査 ・片麻痺機能検査 ・脳機能検査 ・統合と解釈 				
学習方略 (LS)	教科書および実技での学習				
学習評価 (EV)	定期テストおよび実技テストにて総合的に評価する予定				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	編著:望月久「最新 理学療法理学講座 理学療法評価学」医歯薬出版株式会社				
参考書	標準理学療法学 専門分野 理学療法評価学 第4版 他				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法評価法Ⅱ			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2年 前・後期	単位	2単位	回数・時間数	30回 (60時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標 (GIO)	疾患特性から種々の評価選定、実施し、その結果がADLにどのような影響を与えているか統合することにより、予後予測を含めて包括的に捉える。				
行動目標 (SBOs)	1:個々の疾患の概略を理解し、説明できる。 2:個々の疾患、障害に応じた評価項目の意義を理解し、説明できる。 3:評価結果のとらえ方を説明でき、その結果を解釈できる。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法Ⅰの復習 ・脳卒中の理学療法評価について ・運動器疾患に対する評価について ・神経疾患に対する評価について ・高齢者の体力、廃用症候群に対する評価 ・模擬患者での評価演習・まとめ 				
学習方略 (LS)	教科書および実技での学習				
学習評価 (EV)	定期テストおよび実技テストにて総合的に判断				
単位認定 の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	編著:望月久「最新 理学療法学講座 理学療法評価学」医歯薬出版株式会社 編著:畠 昌史 他「PT臨床評価ガイド」医学書院				
参考書	国家試験問題集等				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法評価法Ⅲ			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	3年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標 (GIO)	総合実習Ⅰ・Ⅱを実施したことにより、知識・技術の再確認と不足部分の補いを行い、理学療法士としての評価法を確立させる。				
行動目標 (SBOs)	疾患特性に応じた、理学療法評価を展開できるよう、今までの知識・技術を整理しながら実施できる。実際の症例に対し、効果的なプランニングを図る事ができるようになる。				
授業概要	評価実習・総合実習Ⅰ、Ⅱで実施してきたチェックリスト、ポートフォリオ、ソーシャル評価を再確認し各学生間で情報を共有しながらディスカッション、実技の実際、解釈の確認などを行っていく。				
学習方略 (LS)	講義、実技を含む				
学習評価 (EV)	実習報告書・レポート提出				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	所持している教科書等				
参考書	適宜紹介				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	臨床運動学			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士 (衣笠病院、一関病院)	
一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床での基本的な動作分析を理解する ・動作遂行能力の診断、動作異常要素の原因追究を行う 				
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・力学的動作が説明できる ・動作分析の思考過程を明らかにし、事例を通して動作分析を理解する ・代表的な疾患を通して動作の特徴を理解する 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 臨床における動作分析 2 動作障害に関与する機能障害 3 姿勢制御のバイオメカニクス 4 寝返り動作の分析 5 — 概要、動作を可能にするメカニズム、目視による動作分析、動作のメカニズムの評価 6 起き上がり動作の分析 7 — 概要、動作を可能にするメカニズム、目視による動作分析、動作のメカニズムの評価 8 起立・着座動作の分析 9 — 概要、動作を可能にするメカニズム、目視による動作分析、動作のメカニズムの評価 10 歩行の分析 11 — 概要、動作を可能にするメカニズム、目視による動作分析、動作のメカニズムの評価 12 — 動作のメカニズムを阻害する原因を推論するための評価 13 疾患や年齢ごとの歩行動作の特徴と分析 14 — 脳血管障害片麻痺、中枢神経障害 15 — 下肢荷重関節の障害、高齢者 				
学習方略 (LS)	授業は動画等を活用しながら、講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 (EV)	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	動作分析 臨床活用講座 バイオメカニズムに基づく臨床推論の実践 メジカルビュー				
参考書					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	日常生活技術論			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	小原拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士 (介護老人保健施設シルバーヘルスー関)	
一般目標 (GIO)	理学療法の中で障害とADLの関連性を正しくとらえることは、個々のライフスタイルに合わせたアプローチをするうえで重要である。ADLの概要及びその範囲、ADL評価、ADL支援機器、疾患特性に応じたADLの指導方法等を学習する。				
行動目標 (SBOs)	1:ADLの概要について理解し、説明できる。 2:ICIDH・ICFとADLとの関連について理解する。 3:ADLとQOLの関係を理解する。 4:ADLに必要な運動学の視点を理解し、介助方法について運動学的説明ができる。 5:主なADL評価を説明できる。 6:ADLを支援する機器の役割を理解できる。 7:代表的な理学療法対象疾患の特性を理解し指導方法を説明できる。 8:在宅生活復帰に必要な退院・退所前の評価の要点とADL指導内容およびその際の留意事項について説明できる。				
授業概要	1 日常生活活動の概念 2 日常生活活動の評価 3 日常生活活動の評価 4 基本動作とセルフケア 5 基本動作とセルフケア 6 移乗動作 7 移動動作 8 歩行補助具 9 車椅子 10 日常生活用具・自助具 11 片麻痺のADL 12 関節リウマチのADL 13 変形性関節症のADL 14 神経筋疾患のADL 15 高次脳機能障害・認知症のADL				
学習方略 (LS)	教科書および実技での学習 ○学習方略のタイプ(ワインスタインら 1986) カテゴリーのリハーサル方略・理解監視方略を参考としてください。 ※事前に学習方略内容の確認を各自でしてください。				
学習評価 (EV)	小テスト、期末試験、授業態度、課題にて総合的に評価する。				
単位認定 の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	Cross Link 理学療法学テキスト 日常生活活動学 メディカルビュー				
参考書	配布資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法演習 I A			授業区分	演習
学年・時期	1 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標 (GIO)	・関節可動域測定において基本軸・移動軸を理解し確実にテストすることが出来る				
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 関節可動域測定① 下肢 2. 関節可動域測定② 下肢 3. 関節可動域測定③ 下肢 4. 関節可動域測定④ 下肢 5. 関節可動域測定⑤ 下肢 6. 関節可動域測定① 肩甲帯・上肢 7. 関節可動域測定② 肩甲帯・上肢 8. 関節可動域測定③ 肩甲帯・上肢 9. 関節可動域測定④ 頸部・体幹 10. 関節可動域測定⑤ 頸部・体幹 11. 関節可動域測定⑥ 頸部・体幹 12. 関節可動域測定⑦ 手 				
授業概要	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習方略 (LS)	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
学習評価 (EV)	編著:望月久「最新 理学療法学講座 理学療法評価学」医歯薬出版株式会社				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	適宜紹介する。				
参考書	PT・OTのための臨床技能とOSCE 金原出版株式会社				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法演習 I B			授業区分	演習
学年・時期	1 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標 (GO)	・徒手筋力検査において段階基準を理解し確実にテストすることが出来る				
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 徒手筋力検査法 下肢 講義① 2. 徒手筋力検査法 下肢 実技① 3. 徒手筋力検査法 下肢 講義② 4. 徒手筋力検査法 下肢 実技② 5. 徒手筋力検査法 下肢 講義③ 6. 徒手筋力検査法 下肢 実技③ 7. 徒手筋力検査法 下肢 講義④ 8. 徒手筋力検査法 下肢 実技④ 9. 徒手筋力検査法 下肢 講義⑤ 10. 徒手筋力検査法 下肢 実技⑤ 11. 徒手筋力検査法 頸部・体幹 講義 12. 徒手筋力検査法 頸部・体幹 実技 13. 徒手筋力検査法 上肢① 講義 14. 徒手筋力検査法 上肢① 実技 15. 徒手筋力検査法 上肢② 講義 16. 徒手筋力検査法 上肢② 実技 17. 徒手筋力検査法 上肢③ 講義 18. 徒手筋力検査法 上肢③ 実技 				
授業概要	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習方略 (LS)	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
学習評価 (EV)	最新理学療法学講座 理学療法評価学 新・徒手筋力検査法 第10版				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	適宜紹介する。				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法演習ⅡA			授業区分	演習
学年・時期	2年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士(東八幡平病院・福島整肢療護園・デイサービスリハビリライフ)	
一般目標 (GIO)	患者様の病態に対応できる理学療法評価ができる				
行動目標 (SBOs)	①理学療法評価学と各疾患の症状を結び付けながら、患者像を把握できる②模擬患者様に対して適切な時間内で各検査測定を実施できる				
授業概要	1.OSCEについて 2-3.コミュニケーション技法 4-5: 医療面接 6-7: 脈拍と血圧の測定 8-9: ROM測定 10-11: MMT測定 12: 感覚検査 13: 腱反射 14: BRS 15: 立位バランス検査				
学習方略 (LS)	提示した模擬患者にて課題に対する演習およびディスカッション				
学習評価 (EV)	取組態度10%、実技テスト90%で総合的に評価				
単位認定 の 方 法 及 び 基 準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	PT・OTのための臨床技能とOSCE 金原出版株式会社				
参考書	配布資料				

科目名	理学療法演習ⅡB			授業区分	演習
学年・時期	2年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matamura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士(東八幡平病院・福島整肢療護園・デイサービスリハビリライフ)	
一般目標 (GIO)	患者様の病態に対応できる理学療法評価ができる				
行動目標 (SBOs)	①理学療法評価学と各疾患の症状を結び付けながら、患者像を把握できる②模擬患者様に対して適切な時間内で各検査測定を実施できる				
授業概要	1-10:動作分析(起き上がり、立ち上がり、歩行) 11-15:まとめ				
学習方略 (LS)	提示した模擬患者にて課題に対する演習およびディスカッション				
学習評価 (EV)	取組態度10%、実技テスト90%で総合的に評価				
単位認定 の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	PT・OTのための臨床技能とOSCE 金原出版株式会社				
参考書					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法技術論(運動器疾患)			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2年 前・後期	単位	2単位	回数・時間数	30回 (60時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士 (衣笠病院、一関病院)	
一般目標 (GIO)	運動器疾患における知識を含め、疾患の程度や罹患した個々の状況を想定した評価方法の選択、検査の実施をし、統合と解釈の理解を深める。				
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> 臨床でポピュラーな疾患の病態生理に関する知識を深める。 症例に合わせた検査項目の必要性の理解と、検査手技の正確性を高める。 評価から導かれた結果から、治療プログラムの考案と妥当性を考える事ができる。 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 理学療法実施前の注意点 画像の見方 腰痛 腰椎部手術前後の理学療法 肩関節周囲炎と周辺疾患 骨折 高齢者の骨折 変形性関節症 人工関節 関節リウマチ 頸椎と頸髄疾患 いわゆる肩こり 膝の靭帯損傷 				
学習方略 (LS)	<p>講義は、スライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施する。</p> <p>適宜、グループワークなどの学生が調べて発表する課題も取り入れて行う。</p> <p>事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。</p>				
学習評価 (EV)	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定 の方法 及び基準	<p>各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。</p>				
教科書	ここがポイント！整形外科疾患の理学療法 第3版 金原出版株式会社				
参考書	<p>適切な判断を導くための整形外科徒手検査法 メジカルビュー</p> <p>スポーツリハビリテーションの臨床 メディカル・サイエンス・インターナショナル</p>				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法技術論(脊椎疾患)			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2年 前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 (60 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標 (GIO)	脊椎・脊髄に関連する疾患の特性および理学療法の展開に関して理解する				
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・脊椎・脊髄に関連する基礎知識を説明できる ・脊椎関連の個々の疾患特性を説明できる ・脊髄損傷の特性、評価方法、動作特性について説明できる ・脊椎・脊髄関連疾患の画像所見が説明できる 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・脊椎・脊髄の解剖学、生理学、運動学の復習 ・脊椎圧迫骨折の理学療法 ・椎間板ヘルニアの理学療法 ・後縦靭帯骨化症の理学療法 ・脊柱管狭窄症の理学療法 ・頸髄症の理学療法 ・脊髄損傷の理学療法 				
学習方略 (LS)	講義を中心として実施する				
学習評価 (EV)	レポート課題及び定期テストにて総合的に評価する予定				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法テキスト改訂2版神経障害理学療法学Ⅱ 中山書店 病気が見える⑩改訂2版 運動器・整形外科 病気が見える⑦改訂2版 脳・神経				
参考書	適宜紹介する。				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法技術論(内部障害)			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2 年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	三谷 典生 n-mitani@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士 (衣笠病院、一関病院)	
一般目標 (GIO)	解剖学と生理学の基礎的知識が必要です。 代表的疾患の評価と治療ができる				
行動目標 (SBOs)					
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 内部障害理学療法学総論(内部障害の定義, 疫学, 扱う範囲, 内部障害の認定) 2 呼吸機能障害と理学療法、呼吸調節機能、 3 呼吸機能評価の意義と方法、検査 4 慢性閉塞性肺疾、気管支喘息、肺水腫、間質性肺炎、肺結核後遺症、外科手術後 5 睡眠時無呼吸症候群、排痰法、胸郭可動域練習、徒手呼吸介助手技 6 人工呼吸管理と理学療法、気道内分泌物吸引法、在宅酸素療法 7 心臓リハビリテーションの概要、虚血性心疾患、 8 心不全、大動脈疾患、末梢動脈疾患 9 深部静脈血栓症、不整脈と心電図の診かた、 10 運動処方、再発予防とチーム医療、一次救命処置 11 代謝障害、エネルギー消費量、運動強度と運動プログラム、糖尿病の治療と運動療法 12 腎疾患と理学療法 13 がんのリハビリテーション基本概念、対象と障害の種類 14 リハビリテーションに必要なアセスメント、 15 理学療法の実際 				
学習方略 (LS)	講義は、スライドプロジェクションとテキスト、プリントより実施する。 適宜、グループワークなどの学生が調べて発表する課題も取り入れて行う。 事前に教科書の該当する部分を予習するとともに、事後学習に取り組むこと。				
学習評価 (EV)	出席状況、提出物および取組態度、筆記試験により総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	最新理学療法学講座 内部障害理学療法学 医歯薬出版株式会社				
参考書					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法技術論(内部障害)			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内 容	松村一:理学療法士(東八幡平病院、福島整 肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標 (GIO)	循環機能障害と理学療法について理解できる				
行動目標 (SBOs)	心臓リハビリテーション及び理学療法について理解できる				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 循環器の解剖学生理学の復習 2 循環器の解剖学生理学の復習 3 循環器の解剖学生理学の復習 4 過去国家試験問題解説 5 心臓リハビリテーションの概要について説明できる 6 虚血性心疾患の理学療法を説明できる 7 心不全の理学療法を説明できる 8 大動脈疾患の理学療法について説明できる 9 末梢動脈疾患・深部静脈血栓症の理学療法を説明できる 10 運動負荷試験(エアロバイク)および心肺運動負荷試験について説明できる 11 胸部画像の見方や評価について説明できる 12 過去国家試験問題解説 13 循環器疾患のリスク管理 14 まとめ 15 まとめ 				
学習方略 (LS)	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価 (EV)	筆記試験で総評する。				
単位認定 の 方 法 及 び 基 準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	内部障害理学療法学(医歯薬出版株式会社)				
参考書	配布する資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法技術論(小児疾患)			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	2年 後期	単位	1単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士(東八幡平病院・福島整肢療護園・デイサービスリハビリライフ)	
一般目標 (GO)	患者様の病態に対応できる理学療法評価治療ができる				
行動目標 (SBOs)	①理学療法評価学と各疾患の症状を結び付けながら、プログラム立案ができる。				
授業概要	1 脳性まひ痙直型の理学療法評価 2 脳性まひ痙直型の治療プログラム 3 脳性まひアトニー型の理学療法評価および治療プログラム 4 重症心身障碍児子供の整形外科疾患の理学療法評価および治療プログラム 5 知的障がい児とその他の発達障がい児の理学療法評価および治療プログラム 6 子供の整形外科疾患の理学療法評価および治療プログラム 7 ダウン症候の理学療法評価および治療プログラム 8 低出生体重児の理学療法評価および治療プログラム 9 呼吸機能障害の理学療法評価および治療プログラム 10筋ジストロフィー症の理学療法評価および治療プログラム① 11筋ジストロフィー症の理学療法評価および治療プログラム② 12 二分脊椎の理学療法評価および治療プログラム① 13 二分脊椎の理学療法評価および治療プログラム② 14 小児の補装具・車椅子 15 過去国家試験問題解説				
学習方略 (LS)	これまで学んできた「人間発達学」「小児科学」「理学療法評価法」「運動療法」で学んだ知識と技術が要求されます。各教科書を参照しながら実技を通して学習すること。				
学習評価 (EV)	筆記試験で総評する。				
単位認定 の方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	小児理学療法学 医歯薬出版				
参考書	配布資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	運動療法総論			授業区分	講義(演習含み)
学年・時期	1 年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動療法の概念が説明できる ・運動療法の基礎理念が説明できる ・基本的な運動療法について説明でき、実施することができる 				
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動と運動療法、理学療法の中の運動療法 ・関節運動 ・筋と筋収縮 ・随意運動と運動制御の生理 ・運動制御と運動学習 ・運動と神経 ・運動と呼吸 ・運動と代謝 ・運動の種類 ・関節可動域運動 ・筋力増強運動 ・持久力増強運動 ・協調性運動 ・バランス運動 				
授業概要	教科書および実技での学習				
学習方略 (LS)	定期テストおよび実技テストにて総合的に判断				
学習評価 (EV)	監修 吉尾雅春 「標準理学療法学[専門分野]運動療法学 総論」医学書院				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	適宜紹介する。				
参考書	国家試験問題集等				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	物理療法学 I			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	下館 浩		実務経験 の 内容	理学療法士(荻野病院、容生会、愛育会)	
一般目標 (GIO)	物理療法の目的と種類、適応、効果について説明できる 各種疾患の症状を理解しながら、各物理療法機器を実際に操作できる				
行動目標 (SBOs)	物理療法の目的と種類、適応、効果について説明できる 各種疾患の症状を理解しながら、各物理療法機器を実際に操作できる				
授業概要	1 物理療法総論・意義と目的 2 疼痛のメカニズム 3 疼痛の評価 4 温熱作用 5 ホットパック、パラフィン浴の適応と禁忌・実際 6 寒冷作用 7 寒冷療法の適応と禁忌、実際 8 物理療法の臨床適用の流れ 9 頸椎牽引療法の適応と禁忌、実際 10 腰椎牽引療法の適応と禁忌、実際 11 マッサージ療法の目的と実際(上肢) 12 マッサージ療法の目的と実際(下肢) 13 リスク管理(インシデント・アクシデントレポート) 14 ケーススタディ 15 過去国家試験問題解説				
学習方略 (LS)	他の教科で学ぶ各疾患の知識が必要となります。各教科書を参考にしながら復習し理解してください				
学習評価 (EV)	レポートおよび取組態度、試験により総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法学講座 物理療法学 (医歯薬出版)				
参考書	理学療法評価学(医学書院) 配布する資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	物理療法学Ⅱ			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	岩淵 隆俊 e.bouzu@gmail.com		実務経験 の 内容	理学療法士(霞が関南病院、介護老人保健施設せんだんの丘)	
一般目標 (GIO)	物理療法の基礎となる物理用語を理解し、説明できる 物理療法の目的と種類、適応、効果について説明できる 各種疾患の症状を理解しながら、各物理療法機器を実際に操作できる				
行動目標 (SBOs)	物理療法の基礎となる物理用語を理解し、説明できる 物理療法の目的と種類、適応、効果について説明できる 各種疾患の症状を理解しながら、各物理療法機器を実際に操作できる				
授業概要	1 電磁波の波長と周波数、光の法則、熱、熱伝導、 2 比熱、熱伝導率、振動、波動、音波 3 超短波・極超短波、超音波療法の適応、禁忌 4 超短波療法・極超短波療法、超音波療法の実際 5 光線とは(紫外線、赤外線、レーザー光線) 6 光線療法の種類と適応と禁忌 7 紫外線、赤外線、レーザー光線の実際 8 電流と電圧、周波数、波形と相 9 神経の脱分極、フリュウゲルの法則 10 強さ時間曲線、クロナキシ一値、運動点 11 電気刺激療法の適応と禁忌 12 電気刺激療法の種類と実際 13 重力と浮力、水圧の作用、水抵抗、水深と過重負荷の関係 14 水治療法の適応と禁忌、種類 15 過去国家試験問題解説				
学習方略 (LS)	授業は講義、演習を用いて実施する。				
学習評価 (EV)	ペーパー試験により総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書					
参考書	配布する資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	義肢学			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	工藤 英司 e-kudo@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士(南昌病院、函館新都市病院、角田病院、介護老人保健施設サンライフえさし)	
一般目標 (GIO)	切断のリハビリテーションにおいて、理学療法士は、断端機能を改善させ、適合した義肢で生活動作が獲得できるよう、理学療法を実施する				
行動目標 (SBOs)	①四肢切断に関する医学的知識を理解する ②アライメントの概念を理解する ③義肢の構造と各部品について理解する ④下肢切断者の理学療法を理解する ⑤上肢切断への理学療法のかかわりを理解する ⑥社会資源について理解する				
授業概要	1. 切断と義肢の基礎知識 2. 早期義肢装着法と義足適合の流れーアライメントの概念 3. 大腿切断・膝離断の基本と義足構造 4. 大腿義足・膝義足のアライメント 5. 下腿切断・サイム切断の基本と義足構造 6. 下腿義足・サイム切断のアライメント 7. 股離断・片側骨盤切除・足部切断の義足構造とアライメント 8. 下肢切断の評価ー問題点の抽出とその統合 9. 下肢切断の機能障害と義足装着前理学療法 10. 切断原因疾患別にみた理学療法上の留意点 11. 義足装着理学療法と応用動作 12. 義手の分類と構造・機能 13. 上肢切断の評価と治療 14. 義肢装具の支給体系とチームアプローチ 15. 講義のまとめ				
学習方略 (LS)	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 (EV)	レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	リハビリテーション統計学 中山書店				
参考書	資料等配布				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	装具学			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	松村一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(東八幡平病院・福島整肢療護園、デイサービスリハビリライフ)	
一般目標 (GIO)	骨関節疾患や脳・神経筋疾患などにより運動機能障害を呈した人に対して適切な装具療法が実施できるようになるために、装具の基本的な構造と機能を理解し、疾患や障害に適した装具の選択や装具療法を理解する。装具の適合についてチェックアウトの方法を習得する。				
行動目標 (SBOs)	<ul style="list-style-type: none"> ・装具の目的について理解する ・装具の3点固定の原理について理解する ・装具制作の流れについて理解する ・装具療法におけるチームアプローチについて理解する ・歩行のバイオメカニクスについて理解する 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 装具学総論 2. 下肢装具の部品 3. 短下肢装具 4. 長下肢装具・股装具・膝装具 5. 靴型装具 6. 下肢装具のチェックアウト 7. 下肢装具のチェックアウト-実習 8. 体幹装具・側弯症装具 9. 上肢装具と自助具 10. 車椅子・歩行補助具 11. 疾患別装具の処方(1)-脳卒中片麻痺の装具 12. 疾患別装具の処方(2)-整形外科疾患の装具 13. 疾患別装具の処方(3)-関節リウマチの装具 14. 疾患別の処方(4)-対麻痺・小児の装具 15. 講義まとめ 				
学習方略 (LS)	授業は講義、実技を用いて実施する。				
学習評価 (EV)	レポートおよび取組態度20%、筆記試験80%により総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	理学療法テキスト 第2版 石川 朗				
参考書	配布する資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	理学療法特論			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	3年 前・後期	単位	2 単位	回数・時間数	30 回 (60 時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標 (GIO)	総合実習Ⅰ・Ⅱを実施するにあたって、今まで学んできた知識の整理、実技の復習を実施する。臨床ではどのような場面で危険が隠れているか予測できるようになること。				
行動目標 (SBOs)	疾患特性に応じた、理学療法を展開できるよう、今までの知識・技術を整理しながら実施できる。				
授業概要	1-2:理学療法総論 3-8:脳卒中の評価および理学療法について 9-14:整形外科疾患の評価および理学療法について 15-18:呼吸器疾患の評価および理学療法について 19-22:循環器疾患の評価および理学療法について 23-26:廃用症候群の評価および理学療法について 27-30:在宅生活支援について				
学習方略 (LS)	講義、実技を含む				
学習評価 (EV)	実技テストおよびレポート提出				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	所持している教科書等				
参考書	適宜紹介				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	地域リハビリテーション論			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	3年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	小原拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士 (介護老人保健施設シルバーヘルス一関)	
一般目標 (GIO)	地域リハビリテーションにおける各サービスのしくみと理学療法士の役割について理解できる				
行動目標 (SBOs)	介護保険サービスと介護予防と健康増進について事例を通して理解して説明できる				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 ICF 分類 2 地域における理学療法士の役割 3 介護保険制度の理解 4 地域理学療法に求められる医学的管理 5 地域での理学療法評価 6 訪問理学療法 7 通所系サービス 8 入所系サービス 9 高齢者体験 10 中枢神経疾患 11 運動器疾患 12 街づくり 13 認知症 14 まとめ 15 国家試験問題 				
学習方略 (LS)	地域リハビリテーションは重要な位置づけです。就職施設でも理解しておく必要があります。授業は講義、プリント、グループワークにて実施する。				
学習評価 (EV)	小テスト、授業態度、提出物において総合的に評価する。				
単位認定 の方法 及び基準	修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	地域理学療法学 医歯薬出版株式会社				
参考書	配布資料				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	予防医学			授業区分	講義
学年・時期	3年 前期	単位	1 単位	回数・時間数	15 回 (30 時間)
担当教員 mail	佐々木 成大 sikisainoblues@gmail.com		実務経験 の 内容	理学療法士(初富保健病院、介護老人保健施設やまゆり、介護老人保健施設さわなり苑)	
一般目標 (GIO)	予防的見地に立った理学療法の基本となる考え方、基礎知識、評価、アプローチについて理解できる				
行動目標 (SBOs)	1. 予防の意義について理解できる 2. 各ライフステージにおける予防理学療法の役割を理解できる				
授業概要	1:予防医学とは 2:予防理学療法と施策—行政と毛材側面 3:予防理学療法と施策—健康増進事業 4:予防理学療法と施策—介護予防とヘルスプロモーション 5:老年症候群 6:認知症 7:店頭・骨折 8:フレイル・サルコペニア 9:運動器疾患 10:脳血管疾患 11:呼吸器疾患 12:循環器疾患 13:スポーツ外傷・障害 14:ウィメンズヘルス・メンズヘルスにおける予防理学療法 15:産業保健における予防理学療法				
学習方略 (LS)	授業は講義、プリント、ディスカッションにて実施する。 学生が調べて発表する課題も含まれる。				
学習評価 (EV)	レポート80%及び取り組み態度20%により総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	15レクチャーシリーズ 予防理学療法				
参考書	予防理学療法学(医歯薬出版株式会社)				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	生活環境論			授業区分	講義(実技含み)
学年・時期	2年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	15回 (30時間)
担当教員 mail	小原拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の内容	理学療法士 (介護老人保健施設シルバーヘルス一関)	
一般目標 (GIO)	私たちが生活するうえで生活環境はとても重要である。理学療法士として地域リハビリテーションを展開するうえで、現在の社会的背景を理解し、個々に考えられる生活支援をいかに改善するための立案・提案方法を実践的に習得する。				
行動目標 (SBOs)	1: 居住環境の整備の一般知識と障害、疾患別の環境調整のポイントについて説明できる。 2: 生活障害を理解し、福祉用具・社会生活用具等の種類や活用方法について説明できる。 3: 生活障害を理解し、家屋評価と家屋改修、環境整備の理由を説明できる。				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 生活環境の概念 2 生活環境の評価 3 生活環境の評価 4 心身機能と生活環境 5 心身機能と生活環境 6 生活環境支援 7 生活環境支援 8 片麻痺 9 関節疾患 10 高次脳機能障害、認知症 11 地域在住高齢者 12 症例(片麻痺) 13 生活における環境 14 生活における環境 15 国家試験問題 				
学習方略 (LS)	教科書および実技での学習 ○学習方略のタイプ(ワインスタインら 1986) カテゴリーのリハーサル方略・理解監視方略を参考としてください。				
学習評価 (EV)	筆記試験、授業態度にて総合的に判断				
単位認定 の方法 及び基準	修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書	Cross Link リハビリテーションテキスト 生活環境学				
参考書	特になし				

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	臨床実習 I (見学)			授業区分	実習
学年・時期	1年 後期	単位	1 単位	回数・時間数	22 回 (45 時間)
担当教員 mail	小原 拓也 t-obara@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(介護老人保健施設シルバー・ヘルス)	
一般目標 (GIO)	医療・保健・福祉機関の見学を主とし臨床実習指導者をはじめ関係スタッフ、対象者(患者、利用者)との関わりを通して、医療従事者としての基本的な態度や言葉遣いについて学び、また理学療法士としての資質を養うことを目的とする。病院・施設の機構・組織、理学療法士の業務及び活動分野における役割を理解することを目的とする。				
行動目標 (SBOs)	I 理学療法の対象者との関係性構築 1. 清潔で適切な身だしなみ、言葉遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる 2. 共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる 3. 周囲における自己の存在を意識した言動を行うことができる 4. 自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対して適切に回答することができる 5. 対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自身の感情を制御して接することができる 6. 対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心掛				
授業概要	1. オリエンテーション 施設概要(組織・機能)、理学療法部門の役割、規則、業務時間 実習中の生活態度 2. 対象者(患者、利用者)とのコミュニケーションの見学・体験 指導者の評価、治療の一部の見学 3. リハビリテーション関連職種の見学や体験 リハビリテーション関連職種の業務内容の見学、体験 4. 実習記録				
学習方略 (LS)	臨床実習指導者の臨床実習 I (見学)総合判定、実習出席状況、本校教員によるデイリーノートや経験(見学)省令記録、自己学習ノートの精査、実習終了報告会(セミナー)の成果をもとに総括的評価を行う				
学習評価 (EV)					
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書					
参考書					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	臨床実習Ⅱ(評価)			授業区分	実習
学年・時期	2年 後期	単位	4 単位	回数・時間数	90 回 (180 時間)
担当教員 mail	千葉 恵美子 e-chiba@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(国保藤沢町民病院(国保藤沢病院)、 老健ふじさわ、訪問看護ステーション)	
一般目標 (GIO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者を尊重し、共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築できる。 2. 職場における理が羽療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚のある言動を取ることができる。 3. 理学療法の流れを理解するとともに臨床内容の意義を理解して説明をすることができる。 4. 指導者の直接監視下で学生により実施されるべき項目(水準Ⅰ)において、リスク管理、理学療法評価を実践することができる。 5. 地域理学療法の場面での経験を通して、地域包括ケアシステム(特に、通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション)に 				
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1-① 清潔で適切な身だしなみ、ことば遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる 1-② 共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる 1-③ 周囲における自己の存在を意識した言動を行うことができる 1-④ 自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対して適切に応答することができる 1-⑤ 対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自身の感情を制御して接することができる 1-⑥ 対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心がけることができ 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動作介助(誘導補助)技術 2. リスク管理技術 3. 理学療法治療技術(検査・測定技術) 4. 物理療法技術 5. 義肢・装具・福祉用具・環境整備技術 6. 救命救急技術 7. 地域・産業・学校保健技術 				
学習方略 (LS)					
学習評価 (EV)	実習前後のOSCR評価、実習指導報告書、実習報告会の内容を踏まえて、総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書					
参考書					

令和6年度 授業計画書

国際医療福祉専門学校一関校

理学療法学科

科目名	臨床実習Ⅲ(総合)			授業区分	実習
学年・時期	3年 前・後期	単位	16 単位	回数・時間数	360 回 (720 時間)
担当教員 mail	松村 一 h-matumura@imwc-ichinoseki.ac.jp		実務経験 の 内容	理学療法士(東八幡平病院、福島整肢療養園、リハビリライフ)	
一般目標 (GIO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者を尊重し、共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築できる。 2. 職場における理学療法士の役割と責任について理解し、その一員として自覚のある言動を取ることができる。 3. 理学療法の流れを理解するとともに臨床内容の意義を理解して説明をすることができる。 4. 指導者の直接監視下で学生により実施されるべき項目(水準Ⅰ)において、リスク管理、理学療法評価、理学療法治療技術を実践することができる。 5. 地域理学療法の場面での経験を通して、地域包括ケアシステム(特に、通所リハビリテーション、訪問リハビ) 				
行動目標 (SBOs)	<ol style="list-style-type: none"> 1-① 清潔で適切な身だしなみ、ことば遣い、礼儀正しい態度で対象者に接することができる 1-② 共感的態度をもって、より良い・善い人間関係を構築することができる 1-③ 周囲における自己の存在を意識した言動を行うことができる 1-④ 自らが置かれた立場で、必要とされている要件を認識し、他者や指導者の助言などに対して適切に応答することができる 1-⑤ 対象者、家族のニーズ・要望などに対し、自身の感情を制御して接することができる 1-⑥ 対象者、家族にとって、相談しやすい雰囲気作りを心がけることができ 				
授業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 動作介助(誘導補助)技術 2. リスク管理技術 3. 理学療法治療技術(検査・測定技術) 4. 理学療法治療技術(運動療法技術) 5. 物理療法技術 6. 義肢・装具・福祉用具・環境整備技術 7. 救命救急技術 8. 地域・産業・学校保健技術 				
学習方略 (LS)					
学習評価 (EV)	実習前後のOSCR評価、実習指導報告書、実習報告会の内容を踏まえて、総合的に評価する。				
単位認定 の 方法 及び基準	各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、科目担当教員の責任下のもと、総合的に勘案して行う。ただし、修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者についての成績評価はDとする。成績評価は「A」、「B」、「C」、「D」で表し、「D」は科目認定不可とする。				
教科書					
参考書					